

地域福祉推進計画 実施計画ロードマップ		【重点取組1】 地域振興協議会における福祉機能の強化 基本目標Ⅰ：住民参加の促進と福祉活動の活性化／基本計画1：小地域における福祉機能の強化／（1）地域振興協会の福祉機能の強化					年次	2021 （R3） 年度	2022 （R4） 年度	2023 （R5） 年度	2024 （R6） 年度	2025 （R7） 年度	【評価基準】 A：目標をすべて達成 B＋：目標を概ね達成 B：目標の半分以上を達成 B－：目標の半分以下を達成 C：着手済み D：未着手
【めざす姿】		地域振興協議会を単位として、様々な地域組織や福祉関係機関などによってネットワークが形成され、生活課題の発見や相談支援の体制が構築されるとともに、地域の福祉関係者が集い、様々な活動をするための拠点づくりが進み、住民主体の多様な地域福祉活動が展開されています。					総合 評価	D	C	C	B	B	

重要業績評価指標（KPI）	地域振興協議会・民間団体の役割	社会福祉協議会の役割	行政の役割
1. すべての地域振興協議会において機能強化モデル事業を実施 2. 福祉コーディネーターとして新たに集落支援員の配置を希望する地区に配置完了 3. 社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置 4. すべての地区において「いきいき１００歳体操」等の介護予防活動（参加者への移送サービス含む）を実施 5. すべての地区において常設型サロンを実施 6. すべての地区において地区相談員の養成・配置を完了 7. すべての地区において高齢者等の見守り支援体制を確立	【期待される主体】地域振興協議会 ●福祉活動部門の体制充実を図ります。 ○福祉コーディネーターの配置　○地区相談窓口の設置 ○福祉学習機能の強化　○相談員・ボランティアの発掘・育成 ●福祉部門を核とする福祉活動の促進を図ります。 ○常設型サロンの設置　○介護予防活動の実施 ○見守り支援活動の実施　○生活支援活動の実施 ●地域振興協議会における介護予防活動への移送サービスの実施	●福祉活動部門への活動支援体制を強化します。 ○研修会、学習会の開催 ○相談員や福祉コーディネーターとの連携と人材育成支援 ○常設型サロン活動支援 ○見守り活動強化に向けた取り組み支援 ○助成金の交付等による事業支援	●地域福祉活動の充実を図る地域振興協議会に必要な応じて福祉コーディネーターを配置します。 ●モデル事業を通じて体制充実に向けた支援をします。 ●健康福祉課と企画政策課が常に連携し中心となって、モデル事業に効果的に向き合える庁内体制を確立します。 ●移送サービスの実施支援に向けた庁内連携を進めます。 ●各種委員の役割や位置付けの見直しを行います。

年次	進捗の目安	地域振興協議会・民間団体の取り組み実績	社会福祉協議会の取り組み実績	行政の取り組み実績	その他特記事項
2021 （R3） 年度	◎モデル地区事業（別紙）実施地区を２地区指定 ◎モデル地区では、まず地域振興協議会を核とするネットワーク組織を立ち上げ、上半期に地区の現状把握・課題整理や地域福祉推進計画に関する研修会を実施。下半期には【重点取組４】の「いきいき１００歳体操」の立ち上げに向け、ネットワーク組織を母体に事業計画を策定。また必要に応じて活動の担い手となるボランティアの養成や福祉コーディネーターの配置を実施 ◎モデル地区以外の５地区においても、地区の現状把握・課題整理や地域福祉推進計画に対する周知と理解促進を図る。さらに、地域振興協議会を核とするネットワーク組織を立ち上げ、次年度からのモデル地区事業の開始に向けて、必要な研修や人材発掘などの取り組みを順次開始	【取組実績】 ▼東西町地域振興協議会 ▼天津地域振興協議会 ▼大國地域振興協議会 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎7月13日　第1回福祉推進事務局会議開催 ・当面の活動概要の承認 ・アンケート調査について内容及びアンケート対象者の決定 ・買物バス及び買物代行支援サービスについて意見交換 ◎11月10日　健康福祉課より、南さいはく地域の福祉推進に係る各種地区診断資料の説明を受ける ◎11月30日　第2回福祉推進事務局会議開催 ・アンケート調査結果の報告 ・地区診断資料の説明と意見交換 ・買物対策として町内で実施されている各種取組について説明と意見交換 ・各集落での「いきいきサロン」の組織概要・活動概要及び現状の問題点等の説明及び今後の対策討議 ▼あいみ手間山地域振興協議会 ▼あいみ富有の里地域振興協議会	【予定される取り組み】 ◎CSWの配置 ◎モデル事業を含む地区への支援体制の確立（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区に配置される福祉コーディネーターへの研修等の活動支援を実施（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区以外の地区へも来年度以降の準備を順次始める（次年度以降も継続的に実施） 【取組実績】 ◎R3年7月に南さいはく地区で福祉推進事務局が立ち上がり、第2回目以降からの取り組み協議に出席	【予定される取り組み】 ◎CSWの配置支援 ◎モデル事業を含む地区への支援体制の確立（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区への福祉コーディネーター配置と研修等の活動支援を実施（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区以外の地区へも来年度以降の準備を順次始める（次年度以降も継続的に実施） 【取組実績】 未実施	
2022 （R4） 年度	◎モデル地区を５地区に拡大して全地区で機能強化プロジェクトを実施済み	【取組実績】 ▼東西町地域振興協議会 10月から福祉コーディネーターの配置、生活課題解決要望書による問題点の可視化、不在地主の草刈りボランティア、道路補修工事ボランティア ◎1～4区の区単位でのサロン活動継続実施、100歳体操継続実施、高齢者独居・昼間独居・高齢世帯の見守り体制継続実施 ◎買い物支援に協力（社協・JOCA） ▼天津地域振興協議会 ◎天津地域振興協議会をモデル地区に拡大 ◎地域福祉コーディネーターの募集を開始 ◎見守り支援活動の実施 見守り声掛け活動を3ヶ月毎にメッセージカードと粗品を持って見回り。 ◎買い物ツアーの実施 日頃買い物にで掛ける機会が少ない人を対象に買い物ツアーを実施中。 ▼大國地域振興協議会 取り組みがスタートできていない為、令和5年度より取組	【予定される取り組み】 ◎モデル事業を含む地区への支援 【取組実績】 【予定される取り組み】 ◎R4年4月CSWを配置。 ◎モデル事業への支援として各地域振興協議会へ適宜訪問（東西町：10回、天津：13回、大國：3回、法勝寺：6回、南さいはく：3回、手間山：8回、富有：4回）し、意向や現状把握、福祉推進事務局の設置について協議　その結果、天津地区では、5月から福祉懇談会が開催。10月には東西町地区にて福祉推進委員会が立ち上がり、地域の取り組みについての協議を開始 ◎モデル地区の福祉コーディネーターへの活動支援として、10月・11月の2回福祉コーディネーターへの研修を実施　12月中旬から南さいはく地区の福祉コーディネーターと一緒にいきいきサロン・代表者との面談など活動支援を実施 ◎モデル地区以外へ福祉推進事務局の設置を勧めていった結果、R5年4月に天津地区にも設置予定 ◎地域の見守り体制づくり支援のひとつとして支	【予定される取り組み】 ◎モデル事業を含む地区への支援 【取組実績】 ◎モデル地区事業を２地区で実施中（南さいはく、東西町）各福祉推進事務局へ参加 ◎10月1日から福祉コーディネーターを配置し、定例MTを開催し活動を支援 ◎企画政策課、社会福祉協議会、健康福祉課での定例MTを開催。7地域振興協議会へ定期的に訪問し進捗状況の確認と取組みを支援	

		みを強化する。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ◎コロナウイルス感染拡大対応のために各取組みが未実施となってしまう。次年度へ繰越しとなった。 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎5月4日 福祉コーディネーター採用に向けた雇用条件等健康福祉課より説明を受ける ◎6月15日 第1回推進事務局会議開催 当面の活動概要及び福祉推進構想について意見交換 又福祉コーディネーター採用に向けての説明、どこでもなんぶ号の概要について ◎10月13日 第2回推進事務局会議開催 予算についての協議、ふれあい部の今後の活動、福祉コーディネーターの役割と活動（採用された福祉コーディネーターが初めて会議参加） ◎1月12日 第3回推進事務局会議開催 ふれあい部活動報告、移動販売車の概要、ｽﾏｰﾄ教室について ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎福祉活動部門の体制について 事務局を中心に各集落の核となる者で福祉推進事務局案とする。福祉コーディネーターの配置を R5.4 から準備中 その他は未着手 ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ◎令和5年3月までに福祉推進事務局を立ち上げる。	え愛マップづくりを支援（4集落） ◎集落の見守りの担い手の一員である地域福祉委員の連絡会を地区ごとに実施するなど活動への啓発につなげた。		
2023 (R5) 年度	◎福祉コーディネーター（集落支援員）の配置を必要とする地域振興協議会に配置完了 ◎全地区において週1回以上「いきいき100歳体操」を実施 ◎各地区の第4期地域づくり計画の策定にあわせて地区に必要な福祉活動を検討し、地域づくり計画に位置付ける	▼東西町地域振興協議会 ◎地域福祉推進委員会での「生活支援」の検討 ・共助交通についての勉強会（イミカ原田アドバイザー他） R5.2月 ・カーシェアリング勉強会（米子市永江地区見学） R5.5月 ・「あいのわ銀行付添サービス」勉強会（社協・CSW） ◎子ども・高齢者の居場所づくり・常設サロンを設置 「つどいの活用」について ・R5年4月より、火～金曜日の開放 ・「駄菓子屋さん」小・中学生が企画から運営（3回実施） ・「100円セルフコーヒー」開始（R5年12月～） ・教育委員会・地域おこし協力隊員・高校生サークル 地域の方による「つどい活用イベント」を開催（4回実施） ・東西町地区福祉推進委員会実施 R5.1.2.5.6.8.10.R6.2月 ＜検討取組＞・子ども食堂 ・支え愛マップの作成 ▼天津地域振興協議会 ◎地域福祉コーディネーターの継続募集 ◎お出かけツアー4回の実施 ◎見守り活動3回の実施 ◎福祉推進事務局・福祉懇談会開催（継続）4・7・8・11・12月 ◎100歳体操の7区懇談・懇聴 ▼大国地域振興協議会 ◎大国福祉を考える会 協議会を中心に民生委員、健康福祉課、社会福祉協議会とで大国福祉を考える会を立ち上げ、4回の会合を行った。 ◎相談窓口の設置 ・協議会事務局を相談窓口とすることを広報おくにで告知した。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ◎令和5年度定期評議会において新役員が決定したら福祉推進委員会を立ち上げて進めたい。 構成メンバー：ふれあい部3役、各部の部長、民生委員代表、地域福祉委員代表、会長、副会長、社協のCSW ◎役員会に於いて地域福祉推進計画の説明と意見交換 ◎民生委員との意見交換会 ◎役員会に於いて福祉推進事務局の立ち上げを決定 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎年4回福祉推進事務局会議開催（継続） ⇒年3回の福祉推進事務局会議を開催した 8月・11月・2月 ◎福祉推進事務局活動・福祉などの情報を主とした広報誌発	【予定される取り組み】 ◎モデル事業を含む地区への第4期地域づくり計画の策定支援（次年度以降も必要により継続） 【取組実績】 ◎11月に南部町地域福祉研修会を開催（65名参加）し地域福祉推進計画の理解・促進を図った ◎各地域振興協議会へ健康福祉課担当職員と毎月訪問し地域福祉推進計画の進捗確認や取組などの相談を行った（SC、CSW） ◎4月に福祉コーディネーターへの研修会を健康福祉課と合同で実施。また、福祉コーディネーターへ適宜、各研修会の参加案内を行った ◎福祉推進事務局が立ち上がった地区の福祉推進事務局会議への出席（SC、CSW） ◎常設型サロン活動支援の一環として、東西町、天津、手間山地区、22集落にてeスポーツ体験会を開催 ◎手間地区の見守り懇談会へ参加（2回） ◎共助交通実施に向けた協議へ参加（東西町、天津） ◎共同募金助成を公募により、ふれあい・交流・拠点整備・地域づくり等に助成を行った（6集落 2団体） ◎町長の集いの場の訪問にSCが行政担当者と訪問し、福祉分野を中心に生活状況等の掘り興しを行った（47拠点） ⇒今後、それぞれ各地域振興協議会における重点的な福祉課題を共有し取り組んでいく	【予定される取り組み】 ◎モデル地区を含む地区への第4期地域づくり計画の策定支援（次年度以降も必要により継続） 【取組実績】 ◎健康福祉課で各地区に地区担当として2名ずつ配置し協議会を支援。 ◎4月1日からあいみ手間山に福祉コーディネーターを配置し、毎月定例MTを開催し活動を支援 ◎企画政策課、社会福祉協議会、健康福祉課での毎月定例MTを開催。7地域振興協議会へ定期的に訪問し進捗状況の確認と取組みを支援（ミーティングフロー参照） ◎8月25日先進地視察として八頭町へ訪問（25名参加）	

		刊(年4回程度) ⇒年2回の発行となった 7月・3月 ◎広報誌作成にあたり地域住民参加の方法を模索・検討(子どもの参加含む) ⇒地域住民の参加については本年度は断念した 住民への取材を行う事で参加してもらう形となった 住民から情報の提供があれば対応していきたい ◎南さいはく交流拠点周知活動を展開・支援(スマホ教室・回顧展などのイベント) ⇒スマホ教室 開催回数8回(継続開催中) ⇒写真展 六十年の思い出 6/5～8/21 開催 ⇒七夕まつりなど各部会イベントの開催 ◎いきいきサロン現状把握・サポート ⇒福祉コーディネーター・南部町役場・社会福祉協議会がいきいきサロンの聞き取り・参加する事で集めた情報を福祉推進事務局会議で共有・検討した ・南さいはく16集落中12集落が参加している ・サロン数14 登録者数 約200名 ・いきいきサロン催しの提案など引き続き継続中 ○100歳体操の周知・参加支援推進 ・今期新たに3集落が参加 計8集落となった ○第4期地域づくり計画において協議会の今後の取り組みを盛り込んだ ◎PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映 ⇒PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映させた ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎福祉活動部門の体制充実 ○福祉コーディネーターを配置(4月) ○相談窓口をてま里に設置し福祉コーディネーター常駐 ◎福祉活動の促進 ○常設型サロンを、てま里に設置 ○見守り支援活動は、各集落のふれあい部員、地域福祉委員(社協)、健康増進委員及び民生児童委員とで見守り懇談会(見守りカードの更新と状況共有)を年2回開催(平成19年度から地域振興協議会で開催し継続中) ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ◎評議会において承認された福祉推進事務局設置準備 健康福祉課、企画政策課、社会協議会及び事務局員を中心とした地域福祉計画の勉強会等開催(毎月1回)し福祉推進事務局立上げに反映させる ◎世代間交流でひまわり保育園児があいみディサービスへ焼き芋を提供 ◎各集落の自主防災組織へ要支援者・独居老人・75歳以上高齢者の名簿作成することで災害時等での活用			
--	--	---	--	--	--

2024 (R6) 年度	◎全地区において地区相談員の養成と窓口の開設を完了 ◎全地区において常設型のサロン（「いきいき１００歳体操」、カフェ、健康教育など）を実施	・R6.7より交流拠点えんがーの富有で100歳体操を実施。毎週火曜日開催。１００歳体操未実施集落への積極的参加呼びかけを行うことと、誰でも参加できるようにした。毎週１０名程度の参加で継続中。複数の集落から参加があり、体操終了後のおしゃべりタイムでは集落の横の繋がりができた。 なお、この100歳体操の事例はR6.11.20「八頭×南部町つながり合い・支え合いのまちづくり」で活動発表を行った。 ・社協・健康福祉課・協議会の３者協議の上、R7.1.8福祉推進事務局を設置完了とした。R7.2.19に民生委員に出席をいただき、集落内の困りごと等の意見交換を行う。また、次年度は、交流拠点えんがーの富有での常設型いきいきサロン開設を検討することとした。次回開催をR7.3.26とした。	【予定される取り組み】 ◎全地区での支援体制の確立 【取組実績】 ◎12月に南部町社会福祉推進大会を開催しご近所福祉クリエイターに講演してもらい地域での支え合いについて理解を深めた（参加者：73名） ◎7月に天津地区に配属された福祉コーディネーターへ研修を実施（座学、配食同行、いきいきサロン世話人紹介他） ◎主に常設型サロンが立ち上がっている地区について、eスポーツ、100歳体操などで適宜関わり、定期訪問、推進事務局会議で活動についての相談を行った ◎12月に東西町地区（１～４区）にて支え愛マップづくりが実施され、助成金を交付 ◎あいみ手間地区にて7月、12月に見守り懇談会が開催され参加（3名）。天津地区にて8月に地域福祉懇談会が開催され参加（2名） ◎各地区で見守りのネットワーク体制構築の提案を行っているが実現には至っていない	【予定される取り組み】 ◎全地区での支援体制の確立 【取組実績】 ◎健康福祉課で各地区に地区担当として2名ずつ配置し協議会を支援。 ◎7月1日から天津に福祉コーディネーターを配置し、毎月定例MTを開催し活動を支援 ◎企画政策課、社会福祉協議会、健康福祉課での毎月定例MTに人権・社会教育課（公民館）を加え、庁内体制を強化。7地域振興協議会へ定期的に訪問し進捗状況の確認と取組みを支援（ミーティングフロー参照） ◎健康増進委員の在り方について検討し地域振興協議会へヒアリング。	
2025 (R7) 年度	◎全地区において地区相談員と民生委員、地区・集落のボランティアの連携による見守り支援体制を確立 ◎次期地域福祉推進計画の策定に向けて、地域振興協議会の組織体制や福祉活動の課題を集約する	【取組実績】 ▼東西町地域振興協議会 ◎地域で助け合う仕組み「見守り・世話人体制」の継続実施と、福祉会として区ごとに対象者の見直し会を開催。 ◎福祉推進事務局会議の充実（地域福祉委員、民生委員、中学生2名、区長、ボランティアなど多様な人材で構成。令和7年度は4回開催）中学生からインスタ教示。 ◎第4期地域づくり計画書を作成し、住民との意見交換会を実施した。 ◎常設型サロンの充実：“つどうデイ”の実施による「つどい」スペースの活用促進、交流と居場所づくり（毎週木曜日）。 ◎eスポーツ普及員によるeスポーツデイの実施で交流の場づくりの促進（2月～毎月第4水曜日）。 ▼天津地域振興協議会 ◎令和7年度5月～福祉推進事務局会議の形態を変更（協議会、福祉コーディネーター、行政、社協にて1か月又は2か月に1回開催） ◎70歳以上独居及び75歳以上世帯の見守り活動を行う（3回/年：ふれあい部） ◎ふれあい部会へ民生委員、地域福祉委員にも参加してもらう合同会議の開催：12月 ◎生活支援活動の実施（買物ツアーを実施し町内で購入できない物品の購入支援）：12月11名参加 ◎ふるさと交流センターでの介護予防活動、集いの場づくり（コーヒーとレコードの日、手芸カフェ、eスポーツ交流会他） ◎ふるさと交流センターで行う介護予防活動への輸送サービスの実施（まちの保健室、スマホ教室、協議会事業） ▼大国地域振興協議会 ◎定期的に“大国を考える会”（福祉推進事務局会議）を開催し福祉課題、取り組みなどを協議（協議会、行政、社協、民生委員、3回）。 ◎田園スクエアでの“ほっとふれんど広場”（常設型サロ	【予定される取り組み】 ◎研修会、学習会の開催 ◎相談員や福祉コーディネーターとの連携と人材育成支援 ◎常設型サロン活動支援 ◎見守り活動強化に向けた取り組み支援 ◎助成金の交付等による事業支援 【取組実績】 ◎研修会・学習会の開催 11月に南部町社会福祉推進大会（参加者83名）を開催し、コミュニケーションデザイナー田川氏による講演を実施した。また、6月には鳥取大学竹川教授による地域福祉推進計画の策定趣旨や次期計画に向けた課題に関する講演会へ参画し、地域福祉や地域での支え合いに対する理解を深めた。 ◎常設型サロン活動への支援 常設型サロンが立ち上がっている地区（東西町、天津、南さいはく）を中心に、eスポーツやいきいき100歳体操などの活動へ定期的に関わるとともに、推進事務局会議を通じて活動運営や課題解決を支援した。また、あいみ富有の里では習字カフェの立ち上げを支援し、参加者の活動成果が南部町社会福祉推進大会の横断幕制作につながった。 ◎相談員・福祉コーディネーター等との連携 各地区で開催された見守り懇談会（東西町4回、あいみ富有の里1回、あいみ手間山2回）及び天津地区地域福祉懇談会へ参加し、地域課題の共有や見守り活動の充実に向けた協議・支援を行った。 ◎見守り活動の推進 見守り懇談会や地域福祉懇談会を通じて、地域住民や関係者との情報共有・意見交換を行い、地域における見守り支援体制の充実を図った。	【予定される取り組み】 ◎次期推進計画の策定に向けて課題集約・整理を行う ◎事業・取り組みの効果と課題の検証を行い、次期計画へ反映させる 【取組実績】 ◎すこやか3課で各地区に地区担当として2名ずつ配置し協議会を支援。 ◎福祉コーディネーター（南さいはく・手間山・天津）と毎月定例MTを開催し活動を支援。 ◎未来を創る課、社会福祉協議会、福祉政策課、健康対策課、人権・社会教育課（公民館）と毎月定例MTを開催し、地域福祉推進計画に係る各課での取組状況を共有。 ◎定期訪問及び福祉推進事務局会議で課題の集約・整理を行った。 ◎福祉コーディネーター未設置地区へ現状の確認と設置希望の意向確認、協議を行った。（大国、法勝寺、あいみ富有の里） ◎各地区で開催された見守り懇談会へ参加（東西町：4回、あいみ富有の里：1回、あいみ手間山：2回）。 ◎健康増進委員の廃止、継続に係る協議を行い、各協議会の選択に合わせた提案を行った。 ◎見守り体制見直し検討会に参加し、対象者について、個別事例の検討、関係者間での情報共有等の連携を強化した。（東西町） ◎各種マップ作りに参加し作成支援をおこなった。（法勝寺、あいみ手間山） ◎ふれあい部に参加し、見守り活動の実施についてを把握した。（南さいはく） ◎R8.1.6の震災後に関係者で集まり、各立場から情報共有を図り、地域住民の支援を行った。また、平時の見守り体制についても、再確認・見直しを行った。（あいみ手間山）	

		ン）の充実。・合同100歳体操：10名⇒16名へ増加 ・小学生（放課後に宿題、eスポーツなど）、中学生（週末の卓球）の居場所 ◎地区相談窓口（地域振興協議会内）の充実。 ・集落からの相談を行政等へつなぎ、話し合いの場を設けた。 ◎地域振興協議会、集落、行政と毎年、合同防災訓練を実施。その成果として、1月6日の地震時、速やかに自主避難所の開設、各集落からの災害情報と安否確認報告が地域振興協議会にあり、行政の災害対策本部に情報提供となった。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ・福祉推進事務局会議を開催（2回） 6/10 第1回福祉推進事務局会議開催 …支え愛マップ作りを行う3集落の選定（武信・馬佐良・掛相）、まちの保健室の参加者増への取り組み、協議会の相談窓口開設に向けた協議。 11/28 第2回福祉推進事務局会議開催 …上記実施したことの報告 ・支え愛マップ作りを武信、掛相、馬佐良で実施 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎福祉推進事務局会議を7回開催。 ◎8月より「かまくら山荘」をつどいの場として開設。広報「かまくら」などで周知を開始。 ◎見守り活動 9回実施。（独居・高齢者等へ顔のみえる関係づくり） ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎福祉推進事務局会議にて課題の集約・整理を行うとともに協議内容や進め方について検討した。 ・天万区の課題把握で、1番組、4番組との意見交換を実施した。（組ごとの集合体で、集落として一括では把握できない。） ・見守り懇談会でメンバーの健康増進委員を全集落で引き続き選任することとした。 ◎まちの保健室の交流会館の活用 ・まちの保健室終了後、来場者で茶話会を実施し、つどいの場として提供。 ◎平時の見守り体制と集落機能への意識向上づくり ・見守り支援活動として「地域見守り懇談会」の開催。メンバーとの意見交換会を行った。 ・令和8年1月6日の震災時には見守り体制が機能し、安否確認につながった。 ◎福祉コーディネーターの地域資源の開発とコーディネートによる福祉活動の展開 ・てま里を拠点とした相談体制の強化と活動づくり ◎福祉の関連マップを作成し連携先を再確認した。 ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ◎R6年7月より交流拠点えんがーの富有での合同100歳体操を毎週開催継続し定着。 ◎R7年8月から交流拠点えんがーの富有にて習字カフェを月1回開催。R7年11月の南部町社会福祉推進大会にて参加者たちで横断幕作成。また、キナルなんぶにて作品提示など参加者のモチベーションとなっているなど常設型いきいきサロンが充実してきている。	◎助成金等による活動支援 クリーンボランティア事業（3件）及び共同募金助成事業（6件）を通じて、各地域振興協議会の地域福祉活動を支援した。	◎えんがーの富有が交流拠点施設となるようなチラシ等の作成に協力、伴走支援を実施。（あいみ富有の里）	
--	--	---	---	--	--